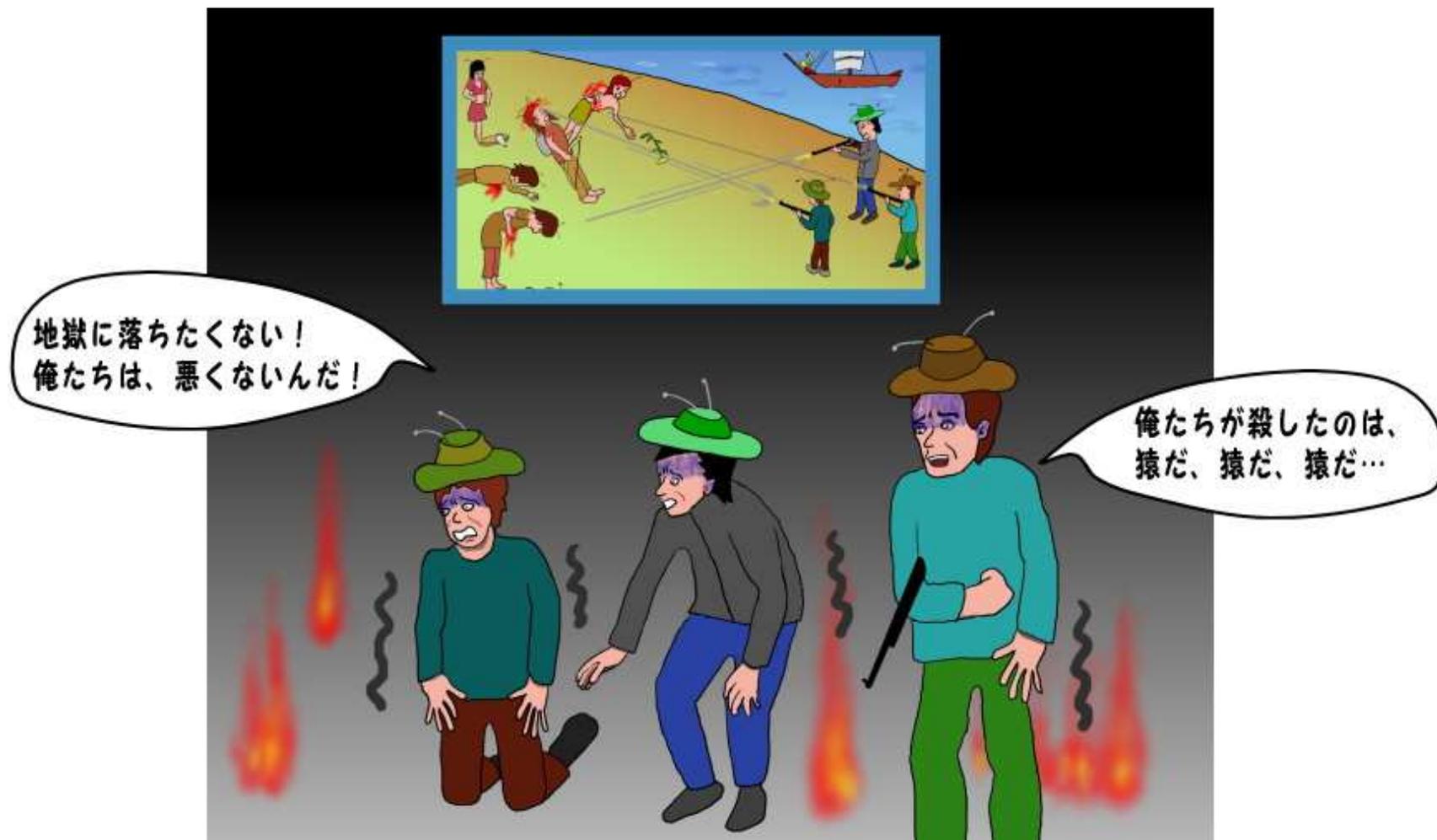


悪夢からの逃走



東郷 潤

遠い星のお話です。異民族を殺した人々が、「自分たちが殺したのは人ではなく動物」という妄想を作ろうとしています。彼らは悪いことをすると地獄で火に焼かれると信じていました。



でも残念ながら、簡単に人は動物には見えません。

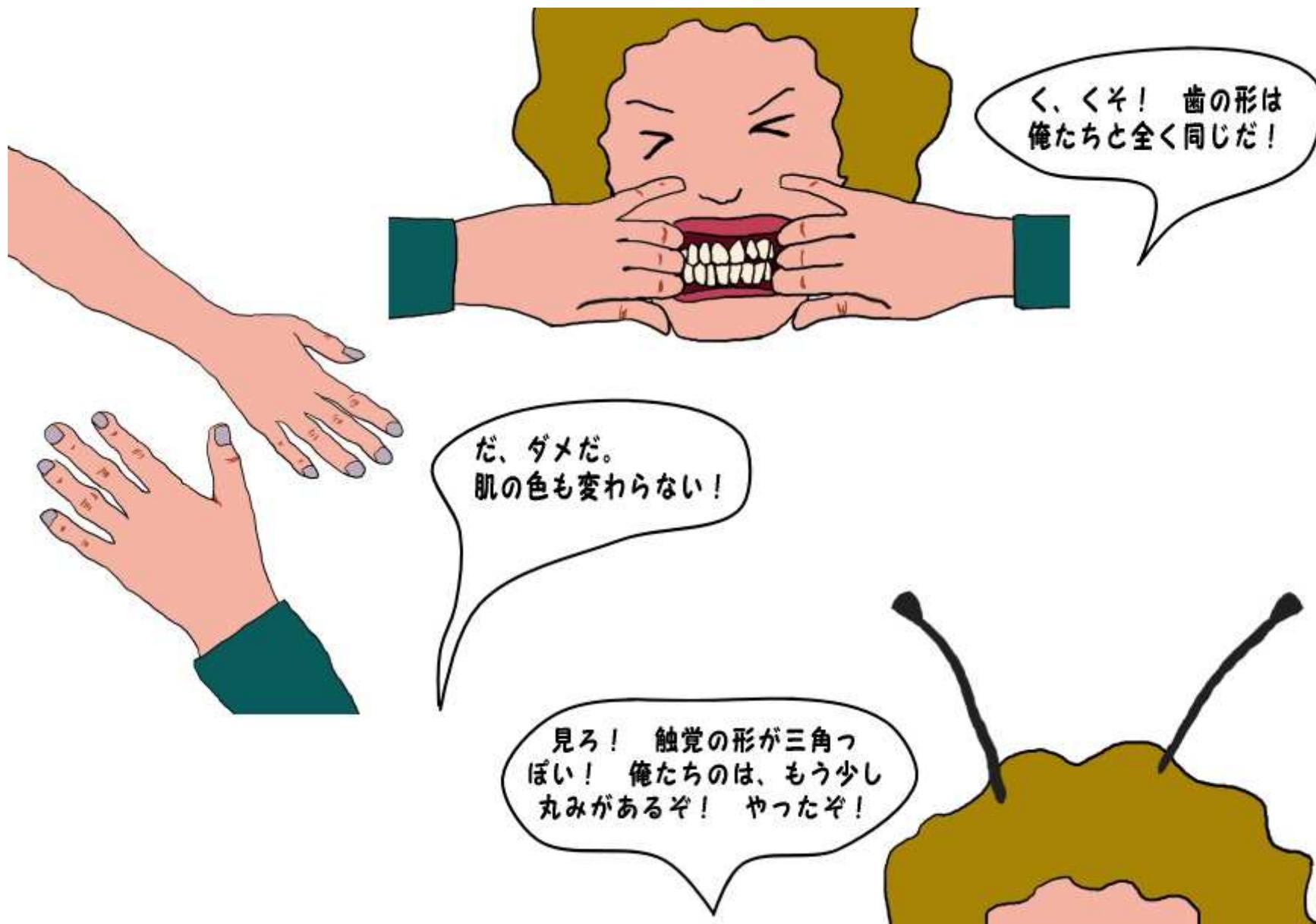


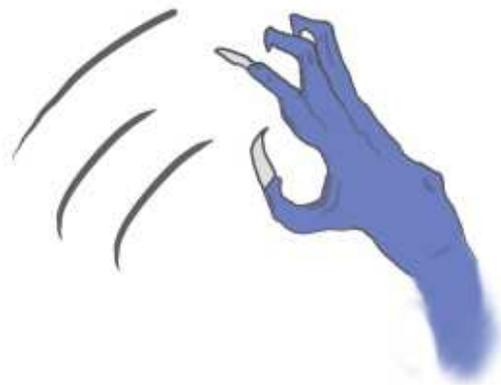


仲間がいたぞ!

キャー!!

は、早く! 奴らが動物だ
という証拠を見つけるんだ~!!





・・・これでもう、自分たちは悪ではありません。人殺しとして罰を受けることもなく、地獄に落ちる心配も無いのです!



さて、人は認識に基づいて行動します。

触覚に丸みがある人々（以下、丸人とします）だけが本物の人間で、触覚が三角っぽい人々（以下、三角人とします）は動物だと信じたなら、それ以降、三角人を動物として扱うこととなるでしょう。

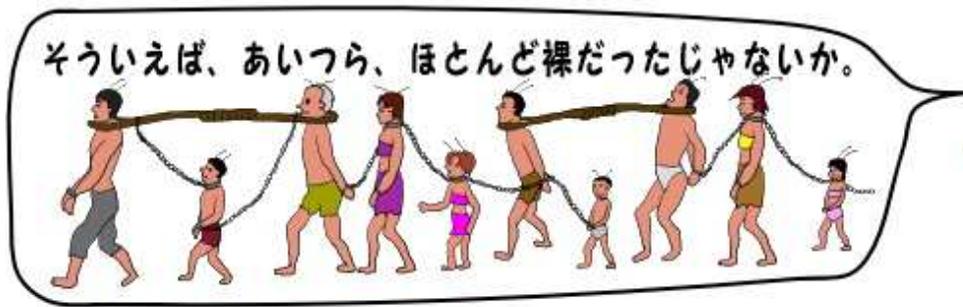


こうしてこの星では、大規模な奴隷制度が生まれました。なんと数百年にわたって1千万人を超える三角人を誘拐し、強制労働をさせ、商品として売買し、レイプし、監禁し、拷問し、殺したのです。

それでも、三角人が人だという事実は変わりません。人を動物だと錯覚し続けるというのは、決して容易なことでは無いのです。・・・でも人を動物だと思えなくなれば、同じ人間を誘拐し、売買し、レイプし、監禁し、拷問し、強制労働をさせ、殺したこととなってしまいます。



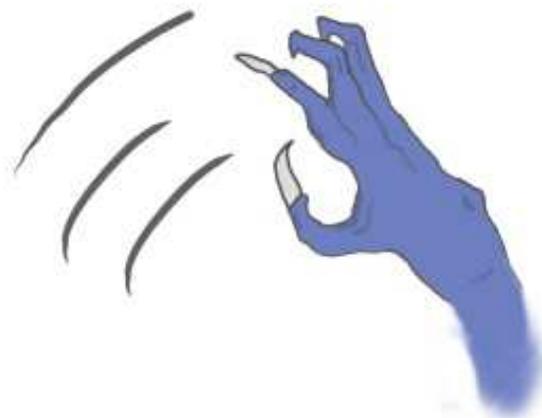




もし三角人たちがもともと暑いところに住んでいたのであれば、薄着なのは当たり前なのですが・・・



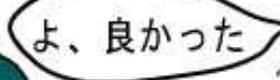
住む場所が違えば、食べ物も変わるものですが・・・。 どうやら、それどころでは無さそうですね。



・・・なんとか、自分たちが奴隷にしたのは、野蛮人だと信じることに成功しました。



ゼー、ゼー



さて人は認識に基づいて行動します。丸人たちが「三角人を征服したのは、野蛮人を文明化するため」という妄想を信じたなら、それ以降も、三角人たちの文化を野蛮なものとして認識することになるでしょう。そして自分達の文化を三角人たちに押しつけることとなるでしょう。言葉も、宗教も、家族制度も、子供の保護の仕方、性のタブー、医学の倫理、政治体制、犯罪の基準、食文化 等々全てに関して、です。



この星では、文明化のためと信じた丸人たちの手で、三角人の子供たちを親元から強制的に引き離すということすら行われたのです。



むろん、三角人の文化にも素晴らしいものがあります。丸人たちが自分達の文化だけが進歩していると、いくら思い込もうと努力しても、それが間違っているという事実は変わりません。「三角人たちを征服したのは文明化のため」という妄想を信じ続けることは、決して容易では無いのです。



だ、誰か、三角人は価値ある文化を
作る事など出来ない劣等人種だと
証明してくれ〜〜〜！！

人々の貴重な文化を
破壊する悪人め！

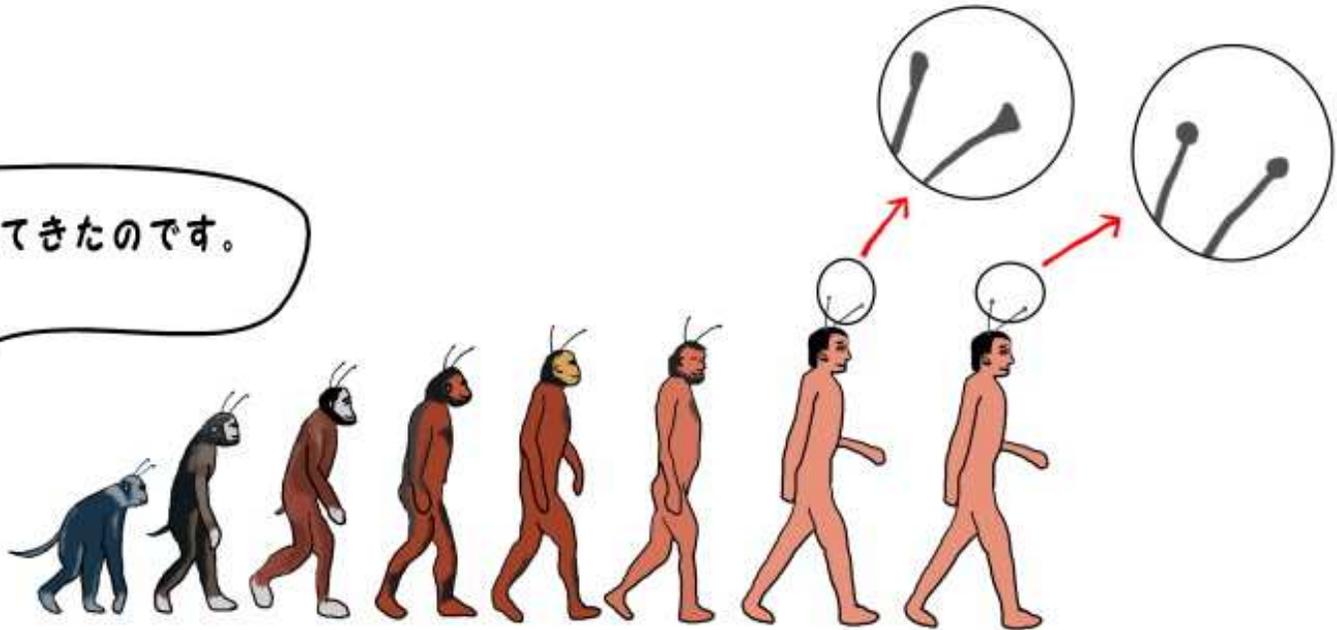




かしこまりました。
私たち、科学者に
お任せください

ただし、研究の予算は、
はずんでくださいね

人は、動物から進化してきたのです。
ほら、こういう風に。



猿から、三角の触手を持つ三角人へ。
そして、一番、進化しているのが、丸い
触覚を持つ我々、丸人なのですよ。



ちなみに、国語のテストをしました。丸人の平均点は、90点です。
一方で三角人に全く同じテストをさせたら、全員が0点でした。
これこそが、我々が優越している証拠なのです

すげー、簡単だ

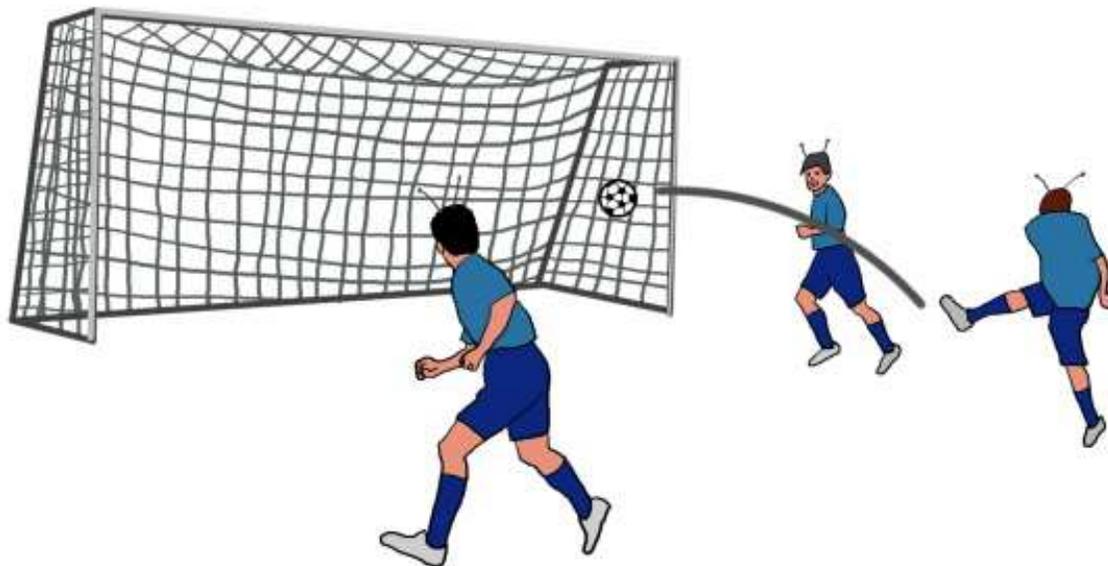


何を書いてあるんだ？
知らない言葉だ。



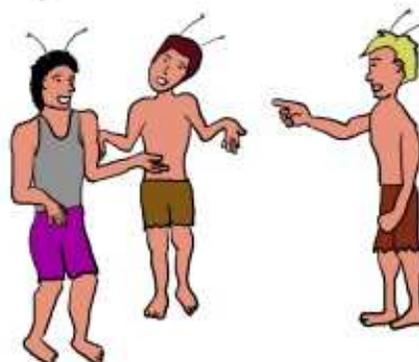


スポーツもそうです。たとえば、サッカー。丸人と三角人に試合をさせたら、100対0で丸人の圧勝でした。これこそが、丸人が優越している証拠です！



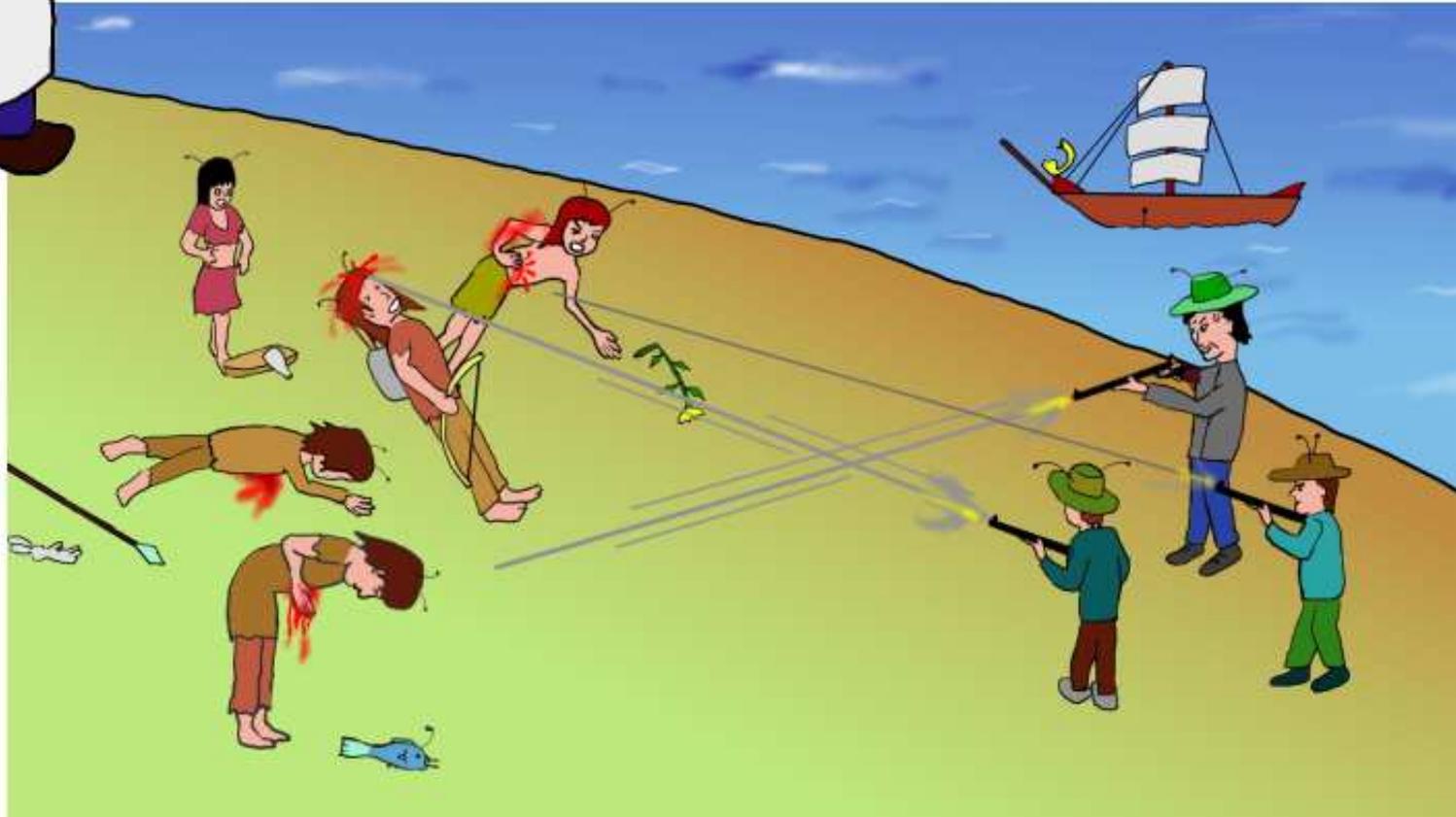
この人たち、なんでボールを蹴っているんだ？

さあ？





戦争もそうです。丸人は三角人との戦争で、これまで
100戦100勝です。弱肉強食が自然界の掟です。
三角人は減びることが定められた劣等人種なのです。



こうして、人種の違いは進化の差だとする優生学が発達しました。



科学者のお墨付きを得て、丸人たちは大いに安堵しました。

さて、人は、認識に基づいて行動します。

「三角人は劣等人種だ」と認識した丸人たちは、丸人と三角人との恋愛や結婚を禁止にしました。もし劣った人種との間に子供を作れば、人類の進化に逆行してしまうからです。



しかし、この星の三角人が劣等人種だというのは妄想です。動物だということも、野蛮人だということも妄想です。いくら優生学が妄想を支持しようと、当然、それに気づかされるときもあるでしょう。

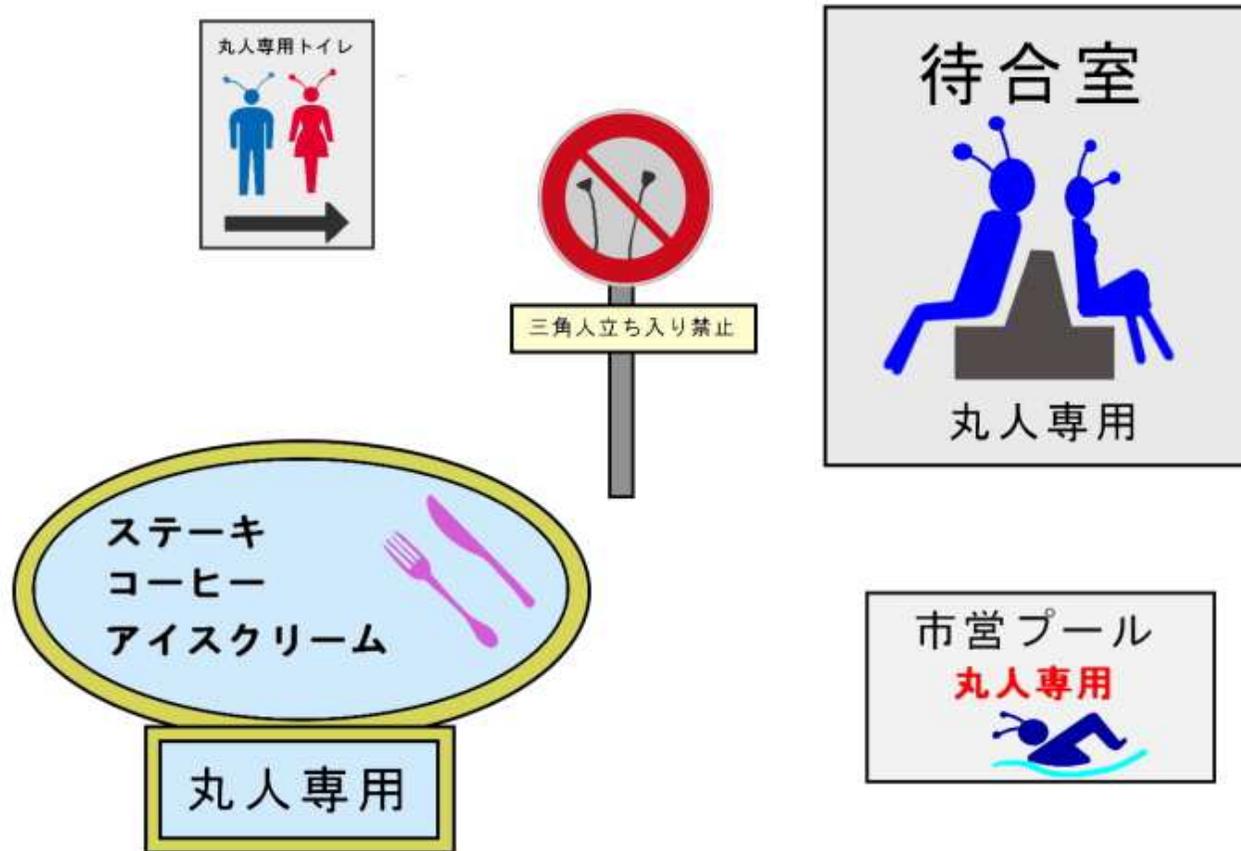




三角人が近くにいれば、姿を見ることも声を聞くことも出来るので、三角人への妄想が壊れてしまう危険があるのです。ではもし三角人を遠くに隔離してしまえば、どうでしょう？



丸人たちは、多くの三角人を強制的に移住させ、居留地に隔離しました。



遠くに隔離できない場合でも、都市の中に専用の居留区が作られ、レストランや学校やバスや病院等も丸人用と三角人用で区分されました。丸人用の施設に間違っって入り込んだ三角人は厳しく罰せられたのです。

もちろん、三角人たちが賢くなつては、彼らを野蛮な劣等人種だとする妄想を続けることが難しくなつてしまいます。当然、三角人への教育は禁止、もしくは最低レベルのものに制限されました。



人種への妄想は、教育を通じて子供たちにも伝えられます。社会システムも、それを前提として構築されます。三角人が劣等ではないという主張は、反社会的で非科学的で違法な悪いこととされました。



こうしてこの星では人種差別が延々と続きました。

さて、人は認識に基づいて行動します。三角人が野蛮で劣等であると認識した丸人たちは、数百年にもわたって、三角人たちを一方向的に攻撃し、征服し、支配したのです。野蛮人の文明化と人類の進化のために。



その結果、三角人の無数の命が奪われました。民族ごと絶滅させられた三角人も少なくはありませんでした。血を流したのは、何千万人なのか、何億人なのか、正確な人数は誰にも分かりません。



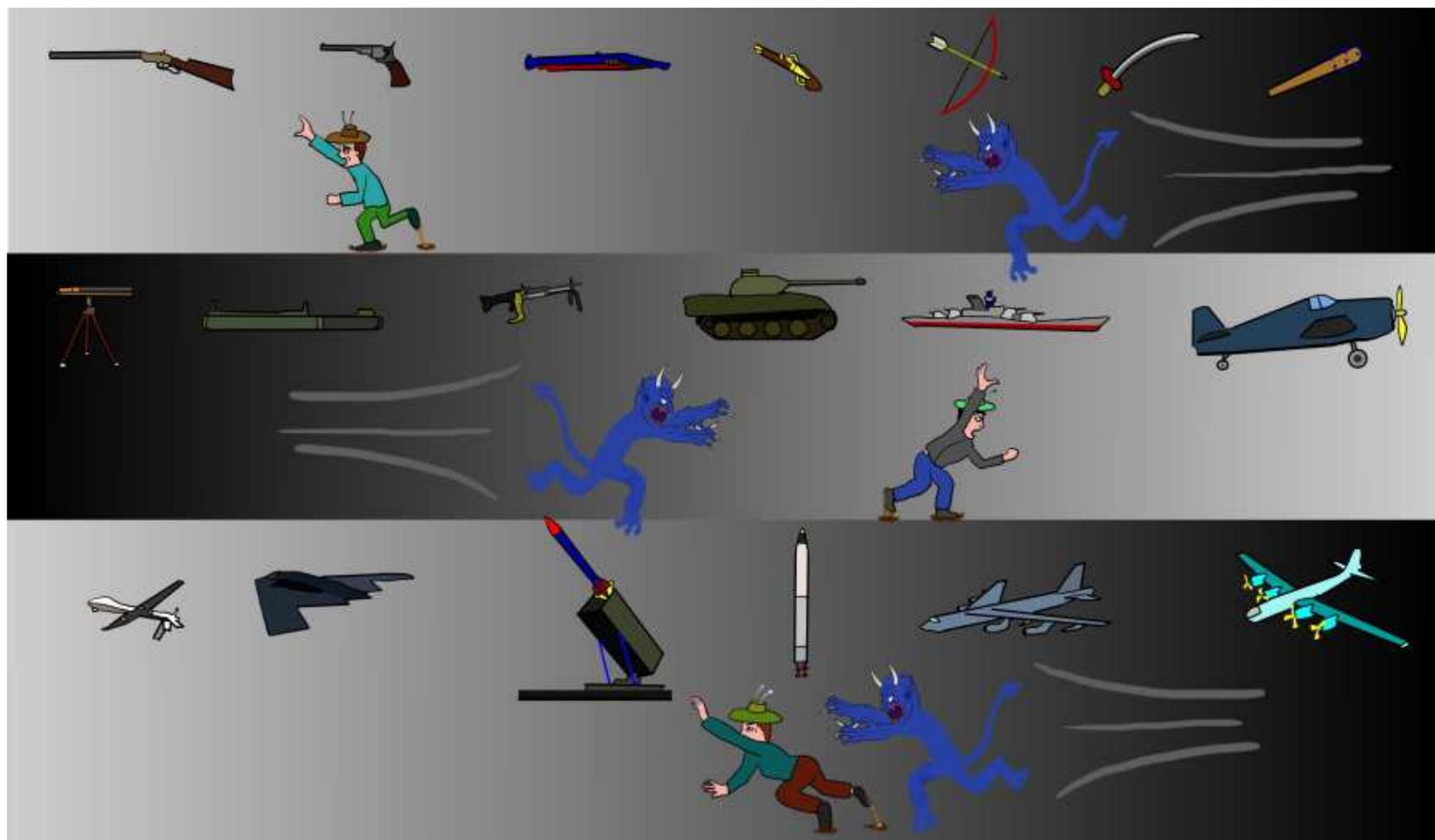
それでも三角人は劣等人種でも猿でも野蛮人でもありません。そして中には真実に気づく人もいます。
す。





相手が自分よりも弱ければ、怯えて退散するでしょう。

逆にもし、相手の方が強ければ脅かせません。それでは自分を正当化出来ません。 . . .そこで妄想に固執する多くの丸人たちは、取り憑かれたかのように強さを追い求めました。



それでもまた、つぶやく人が出てくるでしょう。だってそれが事実なんですから。

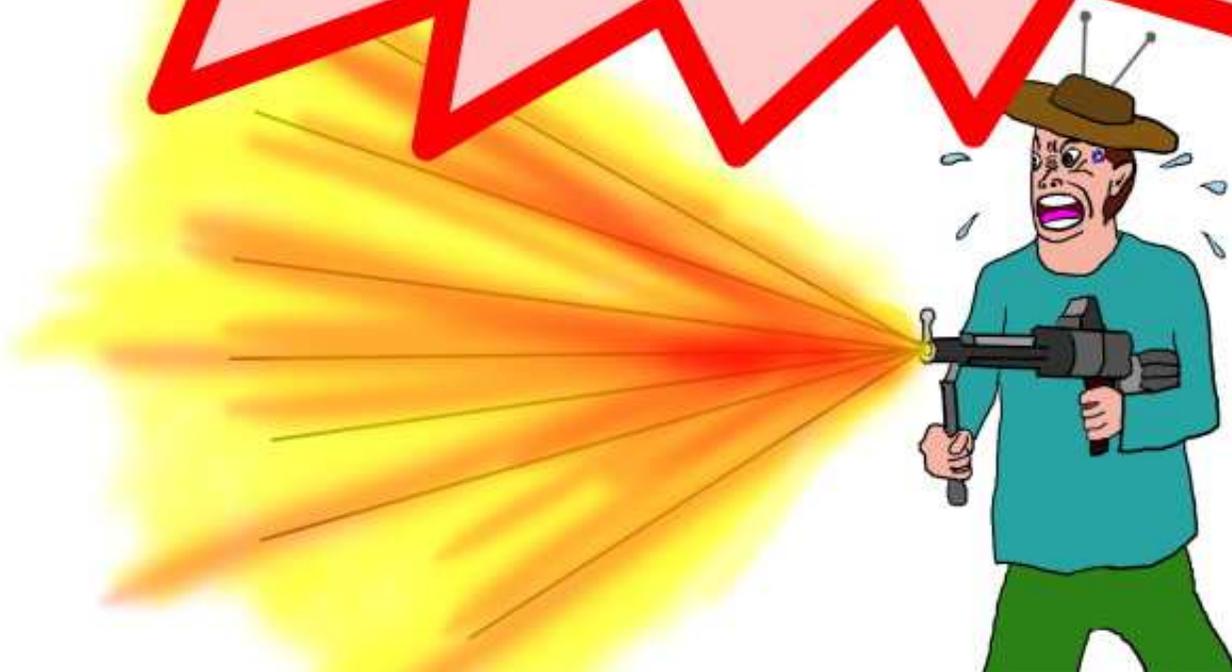




でも、いくら脅そうと事実は事実です。



だ、黙れ〜!!!



あとがき 一絵本「悪夢からの逃走」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2014